

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：明日葉保育園金沢文庫園	種別：認可保育所
代表者氏名：須藤 克	定員（利用人数）：60名（60名）
所在地：〒236-0042 横浜市金沢区釜利谷東2-16-10	
TEL：045-349-9301	
ホームページ：http://www.ashita-ba.jp	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：令和元年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 あしたばマインド	
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員： 14名
専門職員	（専門職の名称） 名 保育士：21名 栄養士：3名
施設・設備の概要	（居室数）保育室：6 調乳室：1 トイレ：12 調理室：1 事務室：1 教材庫：1 （設備等）園庭：有

③理念・基本方針

【保育理念】

「子どもの明日を育み、今日を支える」

明日葉の花言葉は、『旺盛な活動力』。

私たちは、子どもが毎日を豊かにすごせる保育を通じて、

明日をたくましく生きる力を育みたいと考えます。

そして子どもの健やかな成長を願うご家族や地域社会とのコミュニケーションを大切に、よりよい今日をサポートします。

【保育方針】

「子どもが今日を最も良く生き望ましい「明日」を作り出す力の基礎を培う

【保育目標】

- ・自分も人も尊重できる子ども
- ・自分で考えて正しいことを選びとれる子ども
- ・心も体も健やかな子ども
- ・思いを適切に表現できる子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

○法人本社「あしたばマインド」の特徴的な取組

食育プログラムをベースに、異文化体験・体操・リトミックも織り交ぜた独自のプログラムを展開しています。食育プログラム『PAKUTTO』、明日葉保育園と世界の国とをオンラインでつなぐ保育『あしたばドア』、体操プログラム『DEKITA』、リトミック『flower』など、金沢文庫園をはじめとする系列園で外部講師等により行われています。

○明日葉保育園 金沢文庫園の特徴的な取組

「腹のすく生活リズム・丈夫な体づくり・体カづくり」を目標にし、歩行に取り組んでいます。年齢×1キロを歩けることを目指しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年6月24日（契約日）～ 令和4年3月9日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	- 回（ - 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1) 特色ある食育の推進

「食事の時間を楽しいと思えるようにすること」を食育の目標に掲げています。子どもの気持ちを尊重し、苦手な食材を無理なく食べられるように、「三角食べ」や「居残り給食」を廃止しました。食育活動では、調理前のまるごとの野菜や魚を見たり、食材を使用した科学も取り入れました。ハロウィンゼリー作りでは、紫キャベツの茹で汁にレモン汁を入れて色の変化を楽しんだり、重曹を用いて缶みかん作りを行うなど、食材に興味を持ち、楽しく学びながら、食べる意欲につなげる取組を行っています。また献立には世界の料理を取り入れ、今年度は世界の麺料理をテーマに食事を提供しました。壁には料理の写真や分かりやすい説明を掲示し、楽しく食への関心を高める工夫をしています。

2) 歩行による丈夫な体づくり

昨今の子どもの運動不足や運動能力の低下を踏まえ、たくさん歩いて、丈夫な体をつくり、おいしいご飯を食べられる「腹のすく生活リズム・丈夫な体づくり・体力づくり」を目標にし、歩行に力を入れています。近隣に公園が多い立地を生かし、積極的に散歩へ出かけ、年齢×1キロを歩けることを目指しています。取組3年目で、『子どもたちが風邪をひかなくなった』『体幹や下半身が鍛えられ、体操で高い身体能力を発揮できるようになった』『行動面が落ち着いた』など様々な効果を実感しています。

3) 園での保育サービスや教育方針について積極的な情報提供

保育ニーズが高い地域にあり、多数の見学希望が寄せられています。個々の見学希望者に対して、保育サービスや教育方針について丁寧に説明しています。近隣には公園が多く、積極的な戸外活動の特色を生かし、玄関には散歩道や目的地の公園の特徴が一目で分かる手作りの散歩マップを掲示したり、持ち帰り用マップを提供するなど、園での活動が見学者や保護者にもわかりやすく親しみが持てるように工夫しています。園のホームページでは、「“生き” 活き」と、のびのびと!」という園長メッセージと共に園の内部が概観できる見学動画を配信しています。またSNSにリンクを貼り、系列園等の保育や行事風景もカラー写真をふんだんに使用して分かりやすい情報を発信しています。

◇改善を求められる点

1) 自己評価にもとづく課題への計画的・組織的な取組

保育所の自己評価の結果について、職員全員で話し合い、園内掲示板に掲示しています。しかし評価により明らかになった課題について、職員参画による改善計画の策定、実施、評価、見直しというPDCAサイクルを回す取組には至っていません。今後、自己評価結果にもとづく課題は、園として取組むべき課題として明確に位置づけ、次年度の事業計画に反映させるなど、組織的な取組が望まれます。併せて中長期的な検討・取組を要する改善課題については園の中長期的計画の立案も期待されます。

2) 業務マニュアルなどの内容を周知するための園内研修の充実

法人が「明日葉保育園ガイドライン」を整備し、職員に配布しています。また、子どもの虐待防止、事故防止、感染症予防・まん延防止、苦情対応、個人情報取り扱いなど、業務毎のマニュアルも作成しています。しかしコロナ禍の影響もあり、マニュアルなどの内容を職員に周知するための園内研修の時間を十分確保できませんでした。保育サービスの質の向上とチームワーク醸成の機会として、園内研修の取組みを推進していくことが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者の視点で見ていただくことの重要性を強く感じました。園の課題は常に意識していたものの、自身で理解していなかったことを指摘していただき、園としての新たな進化のヒントをいただけたと思います。このVUCAの時代の中で、“選ばれる保育園”となれるよう社員の足並みをしっかりと揃えて、組織としての力を強化、そして質の高い保育を展開し、社会の貢献できる保育園を目指していきたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり